さよなら原発 2019 関西アクション

―― 再稼働やめて！　核燃サイクル中止！ ――

エルおおさか　大ホール

（京阪＆地下鉄・天満橋駅歩3分）

3.9（土）

福島原発事故から8年。
200人余の子ども達が甲状腺ガンに苦しみ、大人は生業を失った。
自然エネルギーを止めてまで危険で高い原発をなぜ再稼働するの？
30兆円も浪費して、無益な核燃料サイクルをなぜ続けるの？
超危険な高レベル廃棄物や、猛毒のプルトニウム47ｔもどうするの？
巨大地震や火山の噴火に襲われたら日本は破滅。
この愚かな政策を一刻も早く終わらせるために
再稼働NO！ 核燃料サイクルNO！と叫ぼう！！

チェルノブイリの歌姫

音楽
カテリーナ・グジー

本集会　13:00開場　13:30開演

講演
「原発ゼロの実現へ」
吉原毅（城南信用金庫相談役）

講演
「核燃サイクルの終焉」
澤井正子（元原子力資料情報室）

アピール
菅野みずえ（避難者）

	前売	当日
一般	800	1000
障害者・学生	400	500

避難者、高校生以下は無料

ロビー企画　12:00より

ベランダ発電（自分電気）
豊中市民エネルギーの会

絵画展（避難者の家族）
作：小林のりあき

喫茶
チャリティバザー

デモ　16:00　西梅田コース

天神橋－南森町－北新地－西梅田

★楽器や鳴り物プラカードを！

体力に応じて歩けるところまで

主催　さよなら原発　関西アクション実行委員会
連絡先　大阪高教組／ストップ・ザ・もんじゅ Tel:072-843-1904 Fax：072-843-6807
http://www.page.sannet.ne.jp/stopthemonju/

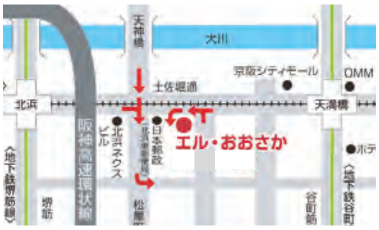
★このチラシをどんどん広めてください。
メールやネットでも広めてください。

さよなら原発 関西アクション

再稼働やめて！　核燃サイクル中止！

2019 3.9 (土)

エルおおさか



ゲスト紹介

吉原毅	城南信用金庫顧問。3.11の福島原発事故後、原発に頼らない、安心できる社会を目指して「脱原発」を宣言。「原発ゼロ・自然エネルギー推進連名」を創設。会長として活躍。
澤井正子	長年、原子力資料情報室のメンバーとして活動。特に再処理問題に詳しく、今回は核燃料サイクル政策の内外の情勢、とりわけ全てに破綻している日本の実情を話して頂く。
カテリーナ•グジー	一歳の時にチェルノブイリ原発の事故に遭い、チェルボナ・カリーナの一員として活躍。現在は東京に住み、全国でソロ公演。今回は「涙そうそう」や「いつも何度でも」「防人のうた」「ウクライナ民謡」等を唄とバンドゥーラの演奏で。
菅野みずえ	3.11で福島第一原発の直近の浪江町で被災。現在は兵庫県三木市に避難し、関西の私たちに鋭い警告を続けている。

ロビーでの展示紹介

ベランダ発電(自分電気)	個人がマンションのベランダなど狭い場所でも簡単にできる太陽光発電の展示と説明。
絵画展	小林のりあきさんの描く避難者の家族の油絵を数枚展示し、当の避難者のお話も直接聞くことができる。
物販販売・喫茶	脱原発の書籍やDVD多数。その他、チャリティバザーやパン、コーヒーの販売も。

メッセージ

福島より　武藤類子（福島原発告訴団団長）

原発事故から8年が経つ福島では今でも、人が住まない家々、除染土を詰めたフレコンバッグ、放射線量の高いホットスポットがあります。避難解除となっても病院、店舗、交通などのインフラは不十分で、野生動物の侵入や、泥棒などの治安の悪さも心配です。
苦境の中でさらに、汚染水の海への放出、除染土の再利用、汚染した木材による木質バイオマス発電、モニタリングポストの撤去、避難者の住宅提供の打ち切りなど、政府は次々と問題を深刻化させています。
福島からも、何とかこれらの問題に抗おうと声をあげ続けています。

青森より　浅石紘爾（核燃サイクル阻止１万人訴訟原告団代表）

もんじゅ廃炉措置は四半世紀に及ぶ長い運動の成果であり、結成以来３１年間の長きにわたって同じく核燃料サイクル政策の撤回と六ヶ所再処理工場の廃止を訴えている原告団一同、深甚なる敬意と感謝を表する次第です。福島原発事故の再発は絶対あってはなりません。政府もこれ以上プルトニウムを増やさない政策に舵を切り始めました。しかし、無反省に原発の再稼働は続き、原子力規制委員会の再処理の適合性審査は大詰めを迎えています。
原子力施設が集中立地する青森県に住む私たちは、３月１０日、青森市で『２０１９ さようなら原発・核燃「３．１１」青森集会』を開催します。時と場所こそ異なりますが、原発・核燃即時廃止の想いは同じです。「３．９　さよなら原発、関西アクション」の成功を祈って、連帯のメッセージとします。